



# SMALL VOICES, BIG DREAMS 2015



子どもたちの小さな声 大きな夢 2015

すべての子どもたちが  
安心してのびのびと成長できる世界のために



調査に協力してくれた子どもたち

チャイルド・ファンド・ジャパンは、1975年より、アジアを中心に  
貧困の中で暮らす子どもの健やかな成長、家族と地域の自立を目指した活動を行っています。

**40** since  
1975  
**th**  
ChildFund  
Japan

# 子どもが危険を感じる時

「子どもへの暴力」をテーマに、今回で6回目となる世界規模の調査「Small Voices, Big Dreams(子どもたちの小さな声 大きな夢)」を世界44カ国の10歳から12歳の子ども約6,000人を対象に実施しました。調査結果のポイントをご報告します。

## SMALL VOICES, BIG DREAMS 2015

### 子どもたちへのすべての暴力を無くせるかどうかは、私たち次第です。

子どもは皆、暴力や搾取の危険がない環境で、勉強をしたり友だちや家族と語り合ったりしながらのびのびと成長できなくてははいけません。

しかし、今回私たちが世界44カ国の10歳から12歳の子どもたちを対象に実施した調査「Small Voices, Big Dreams(子どもたちの小さな声 大きな夢)」からは、多くの子どもたちが家や学校、またインターネット上で危険を感じていることが

わかりました。また、全体の4人に1人以上の子どもが、大人に十分愛されていない、と答えています。

私たちチャイルド・ファンド・アライアンスは、子どもが子どもらしく生きられる環境のためにまだまだ支援が必要だと考えています。子どもたちが安全で充実した子ども時代を過ごすことができ、より良い未来を築くことができるように支援を継続することが重要です。

このレポートをお読みいただき、子どもたちへのあらゆる暴力や搾取を無くすにはどうしたら良いかを考えるきっかけとなれば幸いです。

\*チャイルド・ファンド・アライアンス:人種、宗教、性別、国籍を問わず、貧困あるいは弱い立場にある子どもたち、家族、地域住民の生活に、持続的かつ有意義な改善をもたらすため、世界58カ国で活動している12の加盟団体により構成されるグローバルな組織です。



チャイルド・ファンド・アライアンス  
事務局長  
メグ・ガルディニエール

### 調査結果

調査内容は3問の選択回答と3問の自由回答の質問、合計6問からなります。

#### Q1 どんどこで身体的または精神的な暴力や虐待の脅威を感じますか？

一人で出歩いているとき	全体	18%
	先進国	18%
	途上国	18%
自宅で	全体	42%
	先進国	28%
	途上国	46%
学校で	全体	58%
	先進国	68%
	途上国	55%
インターネットで	全体	28%
	先進国	63%
	途上国	18%

全体の半分以上の子どもが学校での脅威を感じています。先進国ではネット上で脅威を感じている子どもが**60%**以上いました。途上国では**約1/2**の子どもが自宅で脅威を感じています。

#### ヴァン／11歳（ベトナム）

大人たちが私たちの言うことをもっと聞いてくれれば私たちはもっと愛されるし、守られると思います。



### 調査概要

#### ●被験者

10歳から12歳の子ども5,931人

途上国 2,158名

先進国 3,773名

#### ●調査実施国

**アメリカ大陸**：カナダ、アメリカ、メキシコ、ホンジュラス、グアテマラ、ニカラグア、ドミニカ&セントビンセント、エクアドル、ブラジル、ボリビア、パラグアイ

**ヨーロッパ**：イギリス、フランス、ドイツ、スウェーデン

**アフリカ**：カーボベルデ、セネガル、ガンビア、ギニア、シエラレオネ、リベリア、マリ、ブルキナファソ、ガーナ、トーゴ、エチオピア、ウガンダ、ケニア、モザンビーク

**アジア**：アフガニスタン、インド、スリランカ、ラオス、カンボジア、ベトナム、フィリピン、インドネシア、東チモール、日本、バングラデシュ

**オセアニア**：オーストラリア、ニュージーランド

\*ネパールは4月の大地震のため、今回の調査対象国には含まれていません。

Q 2 大人による子どもへの暴力や虐待がなぜおきると思いますか。

大人には力があるから	全体	38%
	先進国	34%
	途上国	40%

先進国の子どもの**43%**が、虐待を行う大人はその人自身が虐待の被害者であった、と答えました。途上国の子どもの**35%**、先進国の子どもの**15%**が自分に責任があるからと答えました。全体の**約1/3**の子どもたちが、大人が子どもを大切にしていない、と答えています。



シタン／12歳（マリ）  
私だったら法律で子どもたちを守ります。



エミリア／12歳（東チモール）  
私がなにか間違っ  
たことをしたとき、母や兄がたたきます。母が私をたたくと私は傷ついて泣いてしま  
います。

Q 3 異性の友だちをさまざまな暴力から守るために何ができると思いますか。

回答は大きく2つに分けられました。ひとつは、暴力をふるわれないような方法をとる、というもの。もうひとつは、大人や保護者に訴える、というものでした。

全体の**14%**の子どもが暴力に立ち向かって守ると回答しました。

男女別では、**17%**の男の子が立ち向かって守ると答え、**17%**の女の子が暴力をふるわれないような方法をとる、と答えています。

先進国では**24%**の男の子が立ち向かって守ると答え、**24%**の女の子が誰かに通告すると答えました。

途上国の子どもの**15%**が、子どもは危険な状況・場所・人物を認識する必要があると答えましたが、先進国では**4%**にとどまりました。



ロニー／12歳（メキシコ）  
女の子も男の子も暴力をふるわれず、尊重されるべきです。そうすればこの国は将来もっと良い国になると思  
います。

Q 4 同性の友だちをさまざまな暴力から守るために何ができると思いますか。

途上国では危険な状況を認識して避けるという回答が**16%**でした。

立ち向かって守るという回答は異性に対する場合よりやや低く**12%**でした（異性に対する場合：**14%**）



シャーミン／11歳（バングラデシュ）  
女の子も男の子も、家や学校にいるときや歩いているときやインターネット上でも身体的・精神的な虐待のリスクがあると思います。私の住んでいる地域では両親がきちんと世話をしていない子どもたちをよく見かけます。

**Q 5** もし、あなたが国のリーダーで、子どもたちを守るために一つだけ実行できるとしたら何をしますか。

子どもへの暴力や虐待に対する罰則を強化するという回答が全体の**24%**でした。これに、法制度を強化するという回答を加えると全体の**42%**になりました。

法制度の強化という回答は途上国の**20%**、先進国の**12%**でした。



**シアカ／12歳（マリ）**  
もし僕がこの国のリーダーだったら、子どもを虐待する大人にそれが悪いことだと気付かせるようにします。

**Q 6** 子どもたちを暴力や虐待から守るため、特に親や保護者ができる最も大切なことは何だと思いますか。

途上国のおよそ**3人に1人**が「もっと子どもを愛すること」と回答。

全体の**1/4**の子どもが「親がもっと子どもを愛することで、子どもが安全でいられる」と答えました。

先進国の子どもたちは途上国の子どもたちに比べて、子どもたちの意見が尊重されていると感じている（先進国：**30%**、途上国：**18%**）ため、「もっと子どもを愛すること」という回答が**9%**でした（途上国：**31%**）。



**ジャレド／12歳（ニカラグア）**  
女の子を守るためには立ち上がって行動をします。

## 子どもたちの小さな声に耳を傾け、大きな夢が持てる世界へ

すべての子どもたちは、暴力や搾取におびえることなく、勉強や遊びに打ち込んで、夢をもちながら家族や友だちとともにのびのびと成長する権利をもっています。しかし今回の調査によって、多くの子どもたちがそのような環境にいない、ということが改めてわかりました。6回目を迎えた「Small Voices, Big Dreams（子どもたちの小さな声 大きな夢）」調査で、それは発展途上国に限らず、先進国でも見られることがわかりました。

私たちは、このグローバルな課題をともに解決して行かなければなりません。

世界の子どもたちのおよそ4人に1人が、大人たちに充分愛されていない、と感じているのですから。

### ■調査に協力してくれた子どもたちの内訳

	全体	途上国	先進国
男性	47%	49%	43%
女性	53%	51%	57%
10歳	29%	29%	31%
11歳	31%	31%	30%
12歳	40%	40%	39%



〒167-0041 東京都杉並区善福寺2-17-5  
特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン  
理事長／高田和彦 事務局長／和山正秀

TEL.03-3399-8123 FAX.03-3399-0730  
E-mail: childfund@childfund.or.jp  
URL: https://www.childfund.or.jp/